

危険物容器試験基準

容器基準対照表 (主として鋼製、200Lドラム)

試験項目	国土交通省・危険物船舶運送及び貯蔵規則/UN	総務省・危険物運搬容器基準/KHK	(判定基準・各々の試験において「漏れのないこと」但し、項目によっては付帯基準があります。)																																																
種類、級別又は等級	(包装等級) I、II及びIII (記号) X、Y及びZ	(種類) I種(内径により区分：細分類有り) (級別) H、M、LM、L (板厚により区分)	(1) JISZ1601 液体用鋼製ドラム (2) JISZ1600 鋼製オープンドラム																																																
気密試験	液体を収納する場合 <table border="1"> <tr><td>容器等級</td><td>I</td><td>II</td><td>III</td></tr> <tr><td>適用圧力</td><td>30kPa 以上</td><td>20kPa 以上</td><td>20kPa 以上</td></tr> </table>	容器等級	I	II	III	適用圧力	30kPa 以上	20kPa 以上	20kPa 以上	液体を収納する場合 <table border="1"> <tr><td>危険等級</td><td>I</td><td>II</td><td>III</td></tr> <tr><td>適用圧力</td><td>30kPa 以上</td><td>20kPa 以上</td><td>20kPa 以上</td></tr> </table>	危険等級	I	II	III	適用圧力	30kPa 以上	20kPa 以上	20kPa 以上	液体を収納する場合 <table border="1"> <tr><td>危険等級</td><td>I</td><td>II</td><td>III</td></tr> <tr><td>適用圧力</td><td>30kPa 以上</td><td>20kPa 以上</td><td>20kPa 以上</td></tr> </table>	危険等級	I	II	III	適用圧力	30kPa 以上	20kPa 以上	20kPa 以上																								
容器等級	I	II	III																																																
適用圧力	30kPa 以上	20kPa 以上	20kPa 以上																																																
危険等級	I	II	III																																																
適用圧力	30kPa 以上	20kPa 以上	20kPa 以上																																																
危険等級	I	II	III																																																
適用圧力	30kPa 以上	20kPa 以上	20kPa 以上																																																
水圧試験	液体を収納する場合 試験方法および圧力は次のいずれか高い方の圧力を5分間加える (複合容器は30分間) (1) 収納する危険物の55℃における蒸気ガス圧力の1.5倍の圧力から100kPa減じた圧力 (2) 容器等級 I 250kPa 容器等級 II 及び III 100kPa	液体を収納する場合 次のいずれか高い方の圧力を5分間加える (1) 収納する危険物の55℃における蒸気ガス圧力の1.5倍の圧力から100kPa減じた圧力 (2) 容器等級 I 250kPa 容器等級 II 及び III 100kPa	危険物ドラムの場合 次のいずれか高い方の圧力以上を5分間加える (1) 収納する危険物の55℃における容器の内圧力の合計圧力の1.5倍の圧力 (2) 収納する危険物の50℃における蒸気圧力の1.75倍の圧力から100kPaを減じた圧力 (3) 収納する危険物の55℃における蒸気圧力の1.5倍の圧力から100kPaを減じた圧力 (4) 100kPa(容器等級 I の危険物を収納するものでは250kPa)の圧力 非危険物ドラムの場合は100kPaの圧力																																																
落下試験	1. 落下の高さ (1) 輸送物質又はこれと同等の物理的性質をもつ代替物質を使用 (2) 輸送物質が液体を収納する容器に対し、代替物質として水を用いる場合 1) 輸送物質の比重1.2以下 <table border="1"> <tr><td>容器等級</td><td>I</td><td>II</td><td>III</td></tr> <tr><td>落下高さ</td><td>1.8m</td><td>1.2m</td><td>0.8m</td></tr> </table> 2) 輸送物質の比重 超1.2 <table border="1"> <tr><td>容器等級</td><td>I</td><td>II</td><td>III</td></tr> <tr><td>落下高さ</td><td>比重×1.5</td><td>比重×1.0</td><td>比重×0.67</td></tr> </table>	容器等級	I	II	III	落下高さ	1.8m	1.2m	0.8m	容器等級	I	II	III	落下高さ	比重×1.5	比重×1.0	比重×0.67	1. 落下の高さ (1) 輸送物質が固体又は液体で同等の代替物質を使用 (2) 輸送物質が液体で代替物質に水使用 1) 輸送物質の比重1.2以下 <table border="1"> <tr><td>危険等級</td><td>I</td><td>II</td><td>III</td></tr> <tr><td>落下高さ</td><td>1.8m</td><td>1.2m</td><td>0.8m</td></tr> </table> 2) 輸送物質の比重 超1.2 <table border="1"> <tr><td>危険等級</td><td>I</td><td>II</td><td>III</td></tr> <tr><td>落下高さ</td><td>比重×1.5</td><td>比重×1.0</td><td>比重×0.67</td></tr> </table>	危険等級	I	II	III	落下高さ	1.8m	1.2m	0.8m	危険等級	I	II	III	落下高さ	比重×1.5	比重×1.0	比重×0.67	1. 落下の高さ (1) 輸送物質が固体又は液体で同等の代替物質を使用 (2) 輸送物質が液体で代替物質に水使用 1) 輸送物質の比重1.2以下 <table border="1"> <tr><td>危険等級</td><td>I</td><td>II</td><td>III</td></tr> <tr><td>落下高さ</td><td>1.8m</td><td>1.2m</td><td>0.8m</td></tr> </table> 2) 輸送物質の比重 超1.2 <table border="1"> <tr><td>危険等級</td><td>I</td><td>II</td><td>III</td></tr> <tr><td>落下高さ</td><td>比重×1.5</td><td>比重×1.0</td><td>比重×0.67</td></tr> </table>	危険等級	I	II	III	落下高さ	1.8m	1.2m	0.8m	危険等級	I	II	III	落下高さ	比重×1.5	比重×1.0	比重×0.67
容器等級	I	II	III																																																
落下高さ	1.8m	1.2m	0.8m																																																
容器等級	I	II	III																																																
落下高さ	比重×1.5	比重×1.0	比重×0.67																																																
危険等級	I	II	III																																																
落下高さ	1.8m	1.2m	0.8m																																																
危険等級	I	II	III																																																
落下高さ	比重×1.5	比重×1.0	比重×0.67																																																
危険等級	I	II	III																																																
落下高さ	1.8m	1.2m	0.8m																																																
危険等級	I	II	III																																																
落下高さ	比重×1.5	比重×1.0	比重×0.67																																																
積み重ね試験	負荷時間：積み重ね高さ3m×24時間 代替物質に水使用：荷重は収納品の比重から計算 $W = ((3-h)/(h)) \times G$ (運用上の計算式)	負荷時間：積み重ね高さ3m×24時間 代替物質に水使用：荷重は収納品の比重から計算 $W = W \times ((3-h)/(h))$ (運用上の計算式)	負荷時間：積み重ね高さ3m×24時間 代替物質に水使用：荷重は収納品の比重から計算 $W = ((3-h)/(h)) \times G$ ●非危険物ドラムは比重1の質量で試験																																																

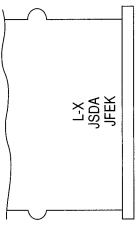
JIS、JSDA、UNの表示例 (川崎工場の場合)

胴表示

① JIS (非危険物用)



② JSDA-1 (クローズ)



③ UN (クローズ)

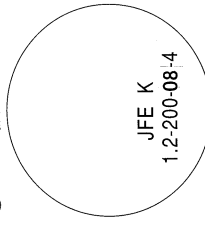


④ UN (オープン)

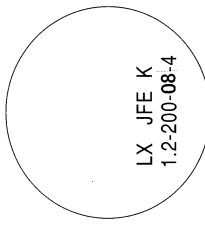


地板表示

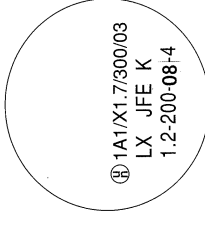
① JIS地板



② JSDA地板



③ UN地板



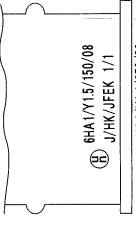
④ UN地板 (オープン)



(備考)

- (1) L: 液体用
S: 固体用
- (2) X: I、II及びIIIに適合
Y: II及びIIIに適合
Z: IIIに適合
- (3) 08: 西暦年の下2桁
4: 月
- (4) 製造工場
JFEC: 千葉工場
JFEK: 川崎工場
JFES: 堺工場
JFEM: 水島工場

⑤ UN (複合容器)



⑤ UN地板 (複合容器)

